

日本 IT 団体連盟

第 2 期事業報告

1. 総会

平成 29 年度は、以下の通り 2 回の総会を開催した。

■第 1 回定時総会

平成 29 年 6 月 7 日（水）16:15～16:45

ホテルニューオータニ「芙蓉前室 4 の間」

出席社員 17 名（委任状及び議決権行使書による者を含む）

- ・第 1 期事業報告および決算報告の承認に関する件
- ・第 2 期事業計画案および予算案の承認に関する件
- ・定款変更の件
- ・理事選任の件

■臨時総会

平成 29 年 6 月 29 日（木）17:00～17:30

ヤフー株式会社内 会議室

出席社員 13 名（委任状による者を含む）

- ・監事選任の件

2. 理事会

平成 29 年度は、持回理事会（書面決議）を含め、以下の通り 7 回の理事会を開催した。

■第 5 回理事会 平成 29 年 5 月 10 日（金）16:00～17:00 ヤフー（株）

出席理事 9 名、出席監事 1 名

- ・平成 28 年度決算書承認
- ・平成 29 年度予算報告
- ・定時総会懇親会の状況報告及び招待者費用支出承認
- ・総会議題の修正
- ・次回賀詞交歓会及び再来年以降の方針

- ・各委員会活動報告
- ・「サービス等生産性向上 IT 導入支援事業」における制度的な課題と提言

■第6回理事会 平成29年6月7日（水）16:30～16:35

出席理事 11名 出席監事 1名

- ・新任副会長選任

■第7回理事会 平成29年6月26日（月）書面決議

- ・監事新任決議に伴う臨時総会（書面）開催の件
- ・「地域IoT官民ネットワーク（仮称）」発起人へIT連盟が参加する件

■第8回理事会 平成29年8月3日（木）書面決議

- ・入会承認の件

■第9回理事会 平成29年9月25日（月）15:30～17:00

出席理事 13名 出席監事 2名

- ・来年以降の総会及び総会懇親会の日程案
- ・賛助会員の再定義案
- ・次回以降の理事会開催日のスケジュール
- ・IT人材育成委員長の件
- ・政治連盟の設立報告
- ・第1回定時総会懇親会報告
- ・各委員会活動報告
- ・「サービス等生産性向上 IT 導入支援事業」報告

■第10回理事会 平成29年12月11日（月）16:30～18:15

出席理事 11名 出席監事 1名

- ・定款第9章 定款の変更、解散等への追記条項
- ・IT連ロゴ変更
- ・ヤフー株式会社からの寄付金
- ・活動方針の策定とWEBサイト刷新
- ・交流委員会（仮）設立
- ・収支中間報告
- ・各委員会活動報告
- ・政治連盟進捗報告
- ・新春交歓会

■第 11 回理事会 平成 30 年 3 月 26 日（月）16:30～18:05

出席理事 13 名 出席監事 1 名

- ・次期役員選任の件 次期役員選任の件 次期役員選任の件
- ・5 月理事会開催日 月理事会開催日 月理事会開催日
- ・平成 30 年度事業計画（案） 年度事業計画（案） 年度事業計画（案）
- ・平成 30 年度予算（案） 年度予算（案）
- ・活動方針の策定 活動方針の策定 活動方針の策定
- ・中小サービス等生産性プラットフォームへの参加
- ・超教育協会への参加
- ・収支報告
- ・新春交歓会報告
- ・各委員会活動報告
- ・政治連盟進捗報告
- ・後援名義報告

3.委員会

平成 29 年度は、政策委員会を 3 回、IT 人材育成委員会を 1 回、IT 教育委員会を 4 回、国際委員会を 2 回開催した。各委員会の活動実績については以下の通り。

■政策委員会 活動実績

- ・デジタルソサエティ推進議員連盟との懇談会の実施
- ・個人情報保護委員会主催 EU 司法総局との意見交換会出席
- ・総務省 IoT 政策委員会 基本戦略 WG データ取引市場等 SWG への参加
- ・「情報銀行に関する政策提言」を公表
- ・派遣法改正の影響に対するアンケート調査の実施
- ・地域 IoT 官民ネットへの参加
- ・Fintech に関するセミナーの開催
- ・予算・税・規制緩和に関する要望を取りまとめ、自民党 IT 戦略特命委員会、総務省、経済産業省に提言を提出
- ・総務省の依頼を受け情報銀行の認定スキームに関する検討会の事務局を担当
- ・地方創生分科会の設置（分科会長：中村副会長）

- ・自動走行対応に関する分科会の設置（分科会長：荻原幹事長）
- ・政治連盟設立に向けた検討

【政策勉強会の開催】

- ・第2回 政策勉強会 公明党の ICT 政策について
（講師：高木美智代議員、輿水恵一議員（当時）、濱村進議員）
- ・第3回 政策勉強会 税制について
（講師：後藤茂之議員）

■IT 人材育成委員会 活動報告

- ・会員のメリットにつながる人材育成を目指す
- ・IPA から IT 人材の現状と課題、人材育成の取組み等についてヒアリング
- ・人材育成のテーマ領域、方向性、ターゲットの設定

■IT 教育委員会 活動報告

- ・産業界のニーズに合った教育講座の産学連携での実現を目指す
- ・IPA の i コンピテンシディクショナリ (iCD) を共通基盤として使い、様々な人材像を育成するための講座のマッピング
- ・実現の過程で発生するであろう問題点や実現の道筋の検討

■国際委員会 活動報告

- ・IT 連盟の英語名の決定
- ・外国政府への周知用の英語版団体説明資料の作成
- ・国際委員会の今後の活動について討議

4.各種交流会、懇親会

平成 29 年度の交流会、懇親会は、以下の通り定時総会後の懇親会と ANIA との合同開催となる新春交歓会の 2 回開催した。

■定時総会 懇親会

平成 29 年 6 月 7 日（水）17:00～18:30 ホテルニューオータニ

参加者：国会議員 27 名、中央省庁 17 名、友好団体 1 名、IT 連盟 116 名

計 161 名

■新春交歓会（ANIA との合同開催）

平成 30 年 2 月 8 日（木） 18:00～19:30 東海大学校友会館

参加者：国会議員 25 名、中央省庁 15 名、友好団体 31 名、IT 連盟 107 名

計 178 名

5.外部の会議等への参加

省庁や政党の会議等をはじめ外部の会議等において委員などの形で参加を行った。具体的には、以下の通り。

- 経済産業省「Fintech の課題と今後の方向性に関する検討会合」に委員として出席
- 経済産業省「中小サービス等生産性戦略プラットフォーム」への参加
- 総務省「IoT 政策委員会 基本戦略 WG データ取引市場等 SWG」において「情報銀行に関する政策提言」を発表
- 総務省主導による「地域 IoT 官民ネット」への参加
- 個人情報保護委員会主催 EU 司法総局との意見交換会出席
- 自民党 IT 戦略特命委員会において政策提言を発表
- デジタルソサエティ推進議員連盟への参加
- 一般社団法人超教育協会へのオブザーバー参加

6.会員の状況

平成 29 年度末時点の会員数は以下の通り。

| | |
|------|-----------------|
| 正会員 | 18 団体（総口数：18 口） |
| 賛助会員 | 0 団体 |
| 合計 | 18 団体 |

7.その他事業

平成 29 年度は、以下の 2 件の事業について受託等を行った。

- 経済産業省「サービス等生産性向上 IT 導入支援事業」
- 総務省「情報信託機能を活用した事業のルール整備に関する調査研究」

8.後援名義使用許可

平成 29 年度は、以下の 4 件に対して後援名義の使用許可を行った。

■IT 検証フォーラム 2017 『つながる世界の第三者検証』

- 【主催】 一般社団法人 IT 検証産業協会
- 【開催日時】 2017 年 7 月 14 日（金） 13:00～17:30
- 【開催場所】 東京大学
- 【内容】 検証業界の育成、IVIA活動の産・学・官への認知度向上、
検証業界の顔となる人材の輩出、IVIA会員企業の技術力向上、
検証事業の産業化を目的に識者からの講演等を実施。

■OGC シンポジウム 2018 「地域と行政のデジタルによる生産性革命」

- 【主催】 一般社団法人 オープンガバメント・コンソーシアム
- 【開催日時】 2018 年 5 月 14 日（月） 13:30～17:35
- 【開催場所】 全国町村会館
- 【内容】 スマートシティプロジェクトの全貌をご紹介するとともに、
我が国政府のIT政策のポリシーメーカー、IoTをはじめとする
デジタル技術の行政への利活用に意欲的な地方自治体のご
担当者の皆様、行政デジタル化に関する大学研究者をお
招きし、デジタル技術を媒介とする地域と行政のインタラ
クションが生み出す成果と課題を熱く議論する。

■JASPA フェア 2018

- 【主催】 全国ソフトウェア協同組合連合会
- 【開催日時】 2018 年 5 月 17 日(木)
- 【開催場所】 きゅりあん（品川区立総合区民会館）
- 【内容】 IT 業界のさらなるコラボレーションにより社会に貢献する
べく、JASPA 会員組合の所属企業および賛助会員が一堂に
会し、事業、営業、技術（ソフトウェア）の紹介により、企
業間の取引や共同開発、共同研究を促進できる場とする。

■U-22 プログラミング・コンテスト 2018

- 【主催】 U-22 プログラム・コンテスト実行委員会
- 【入選作品紹介】 2018 年 10 月 16 日～19 日 CEATEC JAPAN2018 会場
- 【最終審査会・特別講演・懇親会・各賞表彰】 都内会場を予定

【内容】 我が国の技術や経済活動を支える IT 人材として活躍が期待される若い世代に対して、IT 技術習得の励みとなるような高い目標と IT 化の進展について正しい知識を与えるため、U-22 プログラミング・コンテストを実施する。

以上